

# あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

## みなと報告

### 徳島小松島港災害時事業継続計画(徳島小松島港BCP)が策定されました

平成23年3月に発生した東日本大震災では、岸壁等の損傷、ヤード・臨港道路等の液状化、荷役機械の損傷、航路・泊地の被災等の物的被害のほか、各関係機関の被災により、長期に渡る港湾機能の低下、ひいては我が国におけるサプライチェーンの停滞等の大きな社会的・経済的影響をもたらしました。

徳島県においては、広域的被害が想定される南海トラフを震源とするM8.0以上の地震が、今後30年以内に60~70%の確率で発生することが予測されており、発災時には徳島小松島港においても、地震動、津波による被害、液状化による後背地の被害にともなって、サプライチェーンの寸断が懸念され、その対策が求められておりました。

そこで、平成24年10月に災害時徳島小松島港活用方策検討関係者会議を立ち上げ、大規模災害時における徳島小松島港の機能継続について検討を進め、この度、平成26年3月7日に開催されました第4回災害時徳島小松島港活用方策検討関係者会議において徳島小松島港災害時事業継続計画(徳島小松島港BCP)が策定されましたので報告いたします。

なお、計画の概要については、次ページ“みなとインフォメーション”をご覧ください。



↑ 第4回災害時徳島小松島港活用方策検討関係者会議  
(平成26年3月7日開催)

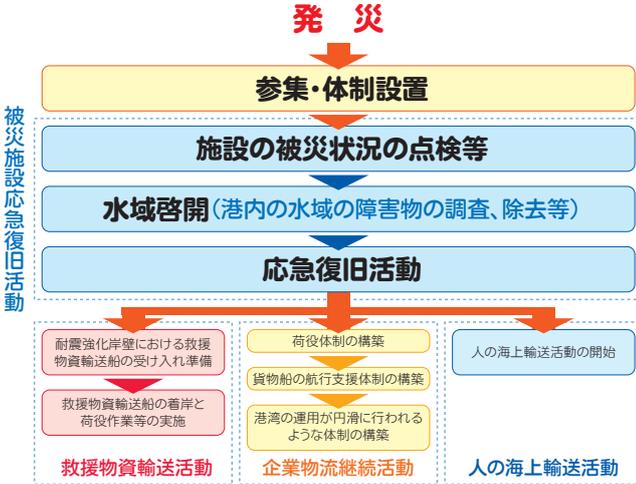
## INDEX▶

- みなと報告・・・ 1  
徳島小松島港に関わる事業継続計画(BCP)が策定されました
- みなとインフォメーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2  
徳島小松島港事業継続計画(BCP)について
- なるほどみなと講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3  
徳島小松島港について
- みなと通信・・ 4  
NPO法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしまへの取り組み

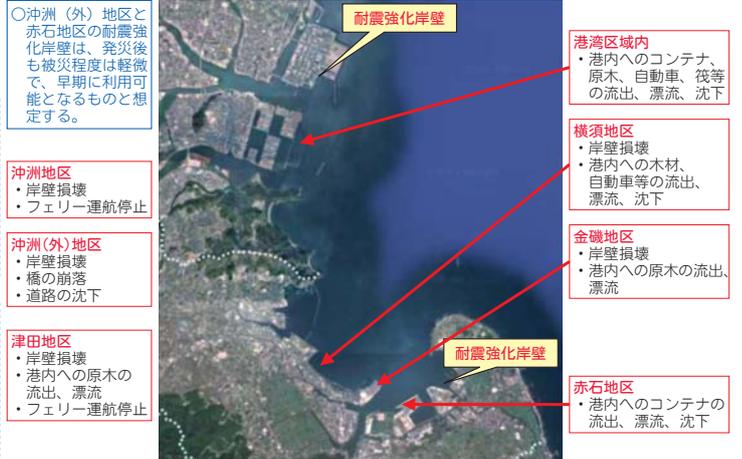
## 徳島小松島港災害時事業継続計画(徳島小松島港BCP)について

今回、策定された徳島小松島港災害時事業継続計画(徳島小松島港BCP)は、大規模災害時の各種活動(被災施設応急復旧活動、救援物資輸送活動、人の海上輸送活動、企業物流継続活動)の方向性、各関係者に期待される事項等、関係者間で共有すべき必要事項について集約したもので、概要を以下に記載します。

### 【各種活動全体の流れ】



### 【被災後の事態想定】



### 【各項目の概要】

#### ①被災想定

想定地震：東南海・南海地震(平成15年中央防災会議)  
地震の規模：L1津波を起こす地震動

#### ②被災施設応急復旧活動

- 発災から20時間以内に沖洲(外)地区、赤石地区の港湾施設、72時間以内に津田地区の港湾施設の被災状況の点検を終了する。
- 発災から72時間以内に沖洲(外)地区、赤石地区の耐震強化岸壁に至る水域の、緊急の水域啓開、障害物の除去等を終了する。
- 発災から1週間以内に沖洲(外)地区、赤石地区の耐震強化岸壁に至る水域、1ヶ月以内に津田地区(-10m岸壁)、赤石地区(-13m岸壁)に至る水域の、大型の障害物の除去等を終了する。
- 発災から72時間以内に沖洲(外)地区、赤石地区の耐震強化岸壁及び周辺、1ヶ月以内に津田地区(-10m岸壁)、赤石地区(-13m岸壁)周辺の港湾施設の応急復旧を終了する。

#### ③救援物資輸送活動

- 発災から72時間以内に、徳島小松島港沖洲(外)地区、赤石地区の耐震強化岸壁へ救援物資輸送船舶を受け入れ、救援物資の荷役を開始する。
- 発災から96時間以内に、耐震強化岸壁から輸送拠点を經由して、徳島市、小松島市内の避難所へ救援物資が届くようにする。
- 救援物資の取扱量は、ピーク時で1日527トンを目安とする。
- 必要に応じ、徳島市、小松島市の河川も活用して、救援物資の市内への配送を実施する。

#### ④人の海上輸送活動

- 発災後22時間以内に、徳島小松島港内で被災施設応急復旧活動等の各種活動にあたる要員等を輸送するための、臨時航路を開設する。
- 発災後72時間以内に、各種活動にあたる要員等を内陸部に輸送する、河川を活用した臨時航路を活用する。

#### ⑤企業物流継続活動

- 発災後1週間以内に、徳島小松島港沖洲(外)地区(耐震強化岸壁)におけるRORO貨物等、赤石地区(耐震強化岸壁)におけるコンテナ貨物等の取り扱いを一部再開可能とする。
- 発災後1ヶ月以内に、徳島小松島港津田地区(-10m岸壁)における原木等の取り扱いを、赤石地区(-13m岸壁)におけるチップ等の取り扱いを、一部再開可能とする。

### 【今後の予定】

今後の課題としては、確実な情報通信方法の確立、資機材の確保、想定以上の被害対応など各種考えられます。

そこで、継続した検討体制を構築するため、平成26年度以降は、“徳島小松島港機能継続連絡協議会”を設立し訓練実施や課題解決に向けた検討、改定作業を継続して行う予定です。

※右記：今後のスケジュール参照

平成26年度  
H26.〇月〇日

第1回連絡協議会

H26.〇月頃

第2回連絡協議会

平成27年度以降

#### 《協議事項 / 目標》



関係主体のBCPに反映

# こまぼんのなるほど！ みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～

ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

## 第30回 徳島小松島港について

### 1. 徳島小松島港の概要

徳島小松島港は、徳島県の経済文化の中心地である徳島市を背後地とする徳島港区と、小松島市を背後地とする小松島港区からなる重要港湾です。

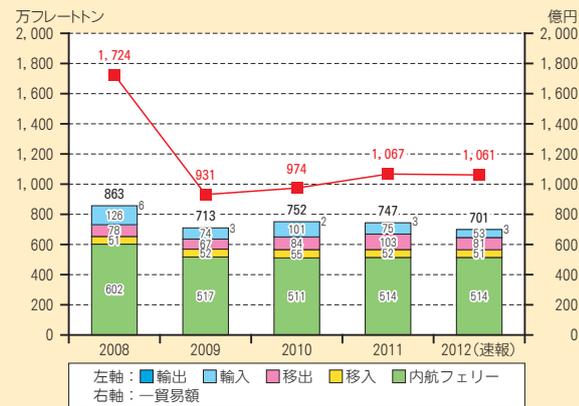
徳島港区は、東京と北九州との間を結ぶフェリー航路が就航しており、また、臨海部に立地する木材関連企業の原料となる林産品（原木）の供給基地となっています。

小松島港区は、国際定期コンテナ航路と国際フィーダー航路が就航しており、また、背後地に立地する製紙関連産業の原料となる林産品（木材チップ）の供給基地となっています。

### 2. 徳島小松島港の取扱貨物データ

■2011年 取扱貨物量 全国65位(12年速報で69位)

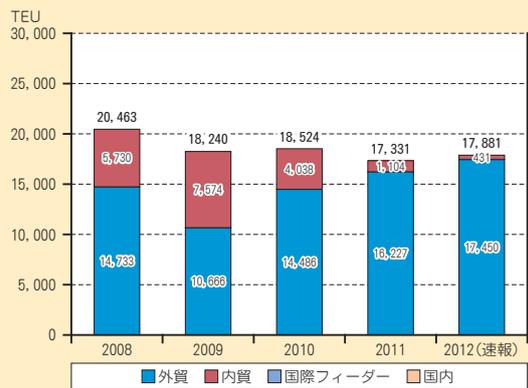
#### 総取扱貨物量の推移



注：徳島小松島港の貿易額には、橋港の貿易額が含まれている  
 出典：貿易額は財務省「貿易統計」、貨物量2008～2011年は港湾統計(年報)、2012年は国土交通省港湾局調べ

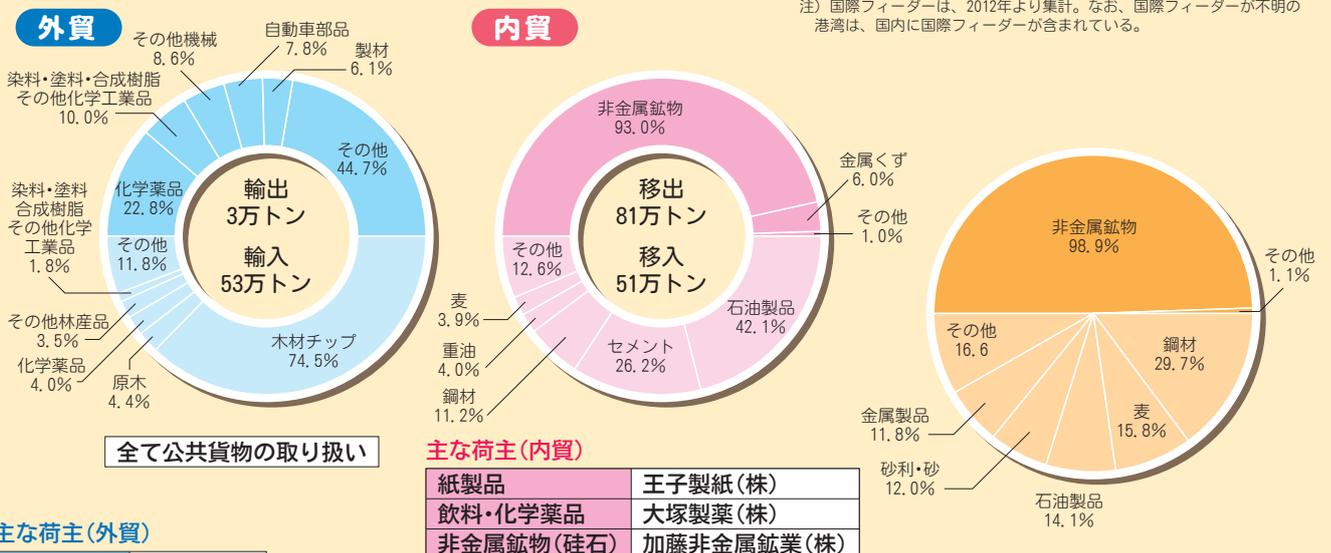
■2011年 コンテナ取扱貨物量 全国50位(12年速報で52位)

#### コンテナ取扱貨物量の推移



出典：2008～2011年は港湾統計(年報)、2012年は国土交通省港湾局調べ  
 ※国際フィーダー：国際コンテナ戦略港湾等で外貨コンテナ船に積み替えられて輸出入されるコンテナ取扱貨物量。  
 ※国内：国際フィーダーを除いた、国内の2地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量。  
 注) 国際フィーダーは、2012年より集計。なお、国際フィーダーが不明の港湾は、国内に国際フィーダーが含まれている。

#### 取扱貨物の品目内訳 (2012年)



出典：国土交通省港湾局調べ

主な荷主(外貨)  
**木材チップ** 王子製紙(株)

# みなと通信



## NPO法人 港まちづくりファンタジーハーバー こまつしまの取り組み

小松島本港地区は、昭和60年に国鉄小松島線が廃止。平成11年には、和歌山港とのフェリー航路が沖洲地区へ移設したため、小松島本港地区に訪れる人は大幅に減少しました。そこで、かつてのにぎわいを取り戻そうと市民や、地元団体、関係者等が参加する「小松島港ワークショップ」を経て、「NPO法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま」が平成14年に設立されました。

設立以降、小松島みなと交流センターkocolo（旧フェリーターミナルビル）でのフリーマーケットや産直市、喫茶スペースの提供による管理運営、及び小松島本港地区の活性化を推進するため“ビジターハーバーフェスティバル”や“kocoloフェスティバル”、関係機関と連携し“港まつり”や“うまいもん祭り”、“海鮮朝市”など各種取り組みを実施した結果、小松島みなと交流センターkocoloの来訪者数は、平成14年には約3万2千人でしたが、平成21年：約13万3千人、平成24年度：約11万2千人と近年、港のにぎわいを取り戻しつつあります。



産直市



Kocoloフェスティバル



うまいもん祭り

### 読者のみなさま

読者のみなさま、こんにちは、事務所長の藤野でございます。

寒さも衰えははじめ、春らしくなってきました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

今回の「あわみなと通信」では、「徳島小松島港災害時事業継続計画（徳島小松島港BCP）」について、紙面を多く割いております。

徳島小松島港は、国際定期コンテナ航路、フェリー航路や多くの貨物を取り扱う港です。そのため、地震などの大規模災害後、いかに早く徳島小松島港の機能を回復させるかが重要な課題となります。そこで、昨年より港に関わる方々と検討を行い、今回策定する事ができました。

今後も各関係者の方々と、協力しつつ災害への対応などを進めてまいります。

なお、徳島小松島港の取扱貨物などについては、「こまぼんのなるほど！みなと講座」に詳しく掲載しておりますので、併せてこちらもお覧下さい。

今後とも当事務所の事業に、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、NPO法人港まちづくりファンタジーハーバーが管理運営しております「kocolo」へも遊びに来ていただければ幸いです。

時節柄、お体を大切にお過ごしください。

小松島港湾・空港整備事務所長 藤野 正宏

## 出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座（みなと学習、環境学習、防災学習）を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL **(0885)-32-3357**

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」  
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>  
よりお問い合わせください。